

1. 大山の石碑



タイトル	せいきゆうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
<p>きやうど しせき にし ほうき へん とつとりけん りつ 『郷土史跡めぐり(西伯耆編)鳥取県立 よなご としょかん 米子図書館 1980</p>	<p>092.9/T -6-4</p>	<p>だいせん しせき せきぶつ だいせん せきぞうびじゆつ ふ 「大山の史跡と石仏」として、大山の石造美術について触 れられています。</p>
<p>とつとりけん いし ぶんがくし むらお そう きちよ 『鳥取県石ぶみ文学史』村尾草樹著 いまい しょてん 今井書店 1982.07</p>	<p>099.0/M1</p>	<p>ひぶん こんりゆづん ばしょ せきひ おお ひ ぶん じんぶつ けいれき 碑文、建立年、場所、石碑の大きさ、碑文の人物の経歴を けいさい かんまつ じんめいさいくい むらおし とうさ いなば 掲載。巻末に人名索引あり。村尾氏の踏査によって、因幡 ほうき あ き ぶんがく ひ もうら 伯耆合わせておよそ240基の文学碑が網羅されていま す。</p>
<p>ほうき せきひ にしお まもる 『伯耆の石碑』西尾護1991.03</p>	<p>Y714/N1</p>	<p>くらよし よなご さかいみなと ひの ぐん だいせんちやう せきひ しゃしん げんぶん 倉吉、米子、境港、日野郡、大山町の石碑の写真と原文、 やくぶん けいさい だいせん しなの ほうみなもとのもりゆきのひう その訳文が掲載されています。大山は信濃坊源盛之碑、塔 ぜんおしょう ひ けいさい 然和尚碑が掲載されています。</p>
<p>ほうき くに いし ほうき しょういん 『伯耆国の石ぶみ』伯耆書院2016.07</p>	<p>Y910ホウ</p>	<p>とつとりけん いし ぶんがくし ほうき しょういん 『鳥取県石ぶみ文学史』をもとに、伯耆書院のメンバーの かたがた とつとりけん ちゆうせいぶ ぶんがくしゃ せきひ もうら しりやう せきひ 方々が鳥取県中西部の文学者の石碑を網羅した資料。石碑 ばしょ せきひ ぶん けいさい の場所と石碑の文が掲載されています。</p>
<p>ぞくだいせんちやうし だいせんちやうし へんしゆかんかい だ 『続大山町誌』大山町誌編集委員会 大 いせんちやう 山町2010.9</p>	<p>Y2239'イ</p>	<p>だい しょう せきぞう ぶんかざい 第8章「石造文化財」 えんにん らいはいし おおえけ ぼしょ せきぞうぶつ ひぶん ななかまど ひ しなの ほう 円仁の礼拝石/大江家墓所の石造物碑文/七釜の碑/信濃坊 みなもとゆりゆきの礎きしきょうおうとう まつお いけ ひぶん とうぜんおきな どうひやう 源盛之碑/石書経王塔/松尾池碑文/塔然翁碑/道標 だいせんちやう しょうがい せきぞう しょうかい 大山町に所在する石造が紹介されています。</p>

2. 大山の信仰



<p>だいせん いしづち さいこくしゆげんどう みやけ じゆん 『大山・石鎚と西国修験道』宮家準編 めいちよしゆつぽん 名著出版 1979.4</p>	<p>160.2/S1</p>	<p>だいせん れきし しんこう ほうき だいせん みんかんしんこう 『大山と歴史と信仰』38p「伯耆大山と民間信仰」48p</p>
<p>しゆげんどうれいざん れきし しんこう ごらいじゆちよ 『修験道霊山の歴史と信仰』五来重著 さくしゅうだいろうつかん 作集第六巻 2008.9</p>	<p>Y182/コウ</p>	<p>だいなこう ほうき だいせん じぞう しんこう によほうきやう 第七講「伯耆大山の地蔵信仰と如法経」287p</p>
<p>だいせん さぐ だいせん じぞう だいせんじ きんない 『大山を探る大山の地蔵 大山寺山内 じぞう せんだ あきら だいせんさいみやんたに 地蔵めぐり』千田明 大山西明院谷を まも かい 守る会 2013.10</p>	<p>Y387セ</p>	<p>だいせんじ じぞう たい しゆうへん れきしてき たても の ばしょ 大山寺の地蔵33体と、周辺の歴史的な建物や場所を、カ ラー写真とともにコンパクトにまとめた一冊です。巻末に しやしん かんまつ 大山寺の寺院名一覧と年号表、「伯耆大山」の神仏習合・ だいせんじ じいん めいいちらん ねんごうひやう ほうき だいせん しんぶつしゆうごう 分離図、周辺案内図が掲載されています。</p>
<p>だいせん みちしるべ いし じぞう かた だいせん 『大山みち～道標と石地蔵が語る大山 しんこう よだえ ちゆうおうじんかん れきし きやうしつ 信仰～』淀江中央公民館歴史教室 1979.03</p>	<p>Y223/Y43 /C</p>	<p>かつて「大山道」としてつかわれていた道の道標と、石地 う もうら 蔵が網羅されています。</p>

じぞう しんこう みんぞく たなか ひさおちよ いわた 『地蔵信仰と民俗』 田中久夫著 岩田 書院 2000.4	Y38/I12	じぞう ぼさつ ほんち ほうきだいせん 「地蔵菩薩を本地とした伯耆大山」(76p～)
ひのがわ りゅういき みんぞく さかた ともひろへん 『日野川流域の民俗』 坂田友宏編 よなご こうぎこうとう せんもんがっこう ひのがわ りゅういきみんぞく 米子工業高等専門学校日野川流域民俗 そうごう ちようさだん 総合調査団 1990	Y380/S14 -4	ほうき だいせんしんこう ほうき だいせんしんこう えんぎ しめ 16. 伯耆大山信仰263p 17. 伯耆大山信仰－縁起に示され だいせん れいり た大山の霊威－289p
しんしゅう よなごし し だいいつかん げんし こだ 『新修米子市史』 第一巻 原始・古 い ちゅうせい つうし へん 代・中世 通史編』	Y224/Y19	じぞう しんこう 896p地蔵信仰について だいせんかみ じぞうそん しゅうごう 897p大山神と地蔵尊の習合
おおがみやまじんじや ゆいしよ き たちばなしんかい きかしくつ 『大神山神社由緒記』 立花書院企画室 へん おおがみやまじんじや ほうさん かい /編 大神山神社奉賛会 1992	Y185材	よなごし おだか おおがみやまじんじや れきし ゆいしよ か 米子市尾高にある大神山神社の歴史と由緒について書かれ ほん おおがみやまじんじや おくみや ふゆみや しもやまじんじや きじゆ た本です。大神山神社奥宮と冬宮、下山神社についての記 つ 述があります。
ぞくだいせんちようし だいせんちようし へんしゅういんかい 『続大山町誌』 大山町誌編集委員会 だいせんちよう 大山町2010.9	Y223タイ	だいさんしろう だいせんじ りやねんびよう 第三章「大山寺略年表」114P だいよんしろう だいせんじ しんこう ひろ 第四章「大山寺信仰の広がり」138p
ぞく なわ ちようし だいせんちよう 『続名和町誌』 大山町 2010.5	Y223ナウ	みんかんしんこう こう だいせんしんこう 「民間信仰と講」 大山信仰(643p～)

3. 大山の民俗



タイトル	せいきゆうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
にほん しょくせいかげんしゅう き が とつとり 『日本の食生活全集31 聞き書鳥取の しょくじ のうさんぎよそん ぶんか きようかい 食事』 農山漁村文化協会 1991.10	Y38/N17	だいせんさんろく しょく 「大山山麓の食」(192p～)
だいせんちようし だいせんちようし へん いんかい 『大山町誌』 大山町誌編さん委員会 だいせんちようやくば 大山町役場 1980.10	Y223/D4	だいはちへん みんぞく 「第八編 民俗」(1018p～)
とつとりけん まつ ぎようじ とつとりけん まつ 『鳥取県の祭り・行事-鳥取県祭り・ ぎようじ ちようさ ほうこくしょ とつとりけん りつはくぶつかん 行事調査報告書-』 鳥取県立博物館 2006.03	Y38/T20- 2	とつとりけん きよういくいいんかい へいせい ねんど ねんど おこな まつ 鳥取県教育委員会が平成15年度～17年度まで行った祭りと ぎようじ ちようさ きろく しゅう だいせんしんこう まつ ぎよ 行事の調査の記録集です。「大山信仰にかかわる祭り・行 うじ だいせん しんじ た 事」(23p)、「大山のもひとり神事」(98p～100p)、その他 ぎようじ いちらん けいさい 行事一覧(146p)が掲載されています。
こうふちよう し こうふちよう し へん いんかい 『江府町誌』 江府町史編さん委員会 1975	092.26/K 1	みこし きようこう 神輿行幸(449p～)

4. 大山の地名



タイトル	せいきゆうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
とっとりけん ちめい にほん れきし たいけい 『鳥取県の地名』日本歴史大系32 へいほんしゃ 平凡社1992	Y29/N19	へいほんしゃ しゅつぱん ちめい じてん ちいき ちめい はいれつ 平凡社から出版された地名辞典。地域ごとに地名が配列さ れています。巻末に行政区画変更、石高一覧、難読地名一 覧、索引あり。近世以前の地名を調べるときに便利な辞典 です。
かどかわにほん ちめい だいじてん とっとりけん 『角川日本地名大辞典 鳥取県31』 かどかわしよてん 角川書店 1982	Y29/K6-2	おんじゆん ちめい はいれつ しら いったつ か 50音順に地名が配列されていて、調べやすい一冊です。巻 頭に難読地名索引、巻末に小字一覧、市町村沿革表があり ます。明治以降の地名について調べるときに便利な辞典で す。
だいせんちようし だいせんちようし へん いいんかい 『大山町誌』大山町誌編さん委員会 だいせんちようやくば 大山町役場 1980	092.23/D 4	だいよんしやう ちめい こうさつ だいせんちよう かく ぶらく ちめい ゆらい 第四章「地名の考察」66p 大山町の各部落の地名由来が 掲載されています。

5. 大山の文学



タイトル	せいきゆうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
だいせんぶんがく さんぽ かわかみみちこ たにの さねのり 『大山文学散歩』川上廸彦・谷野允則 さんようしんぶんしゃ 山陽新聞社 1996.11	Y902/K1	だいせんじ えんぎ きんせい いずも じ にっき きんげんだい あんや 「大山寺縁起」、近世の『出雲路日記』、近現代の『暗夜 行路』、『絶唱』など、大山とその周辺を舞台にした文学 しょうかい いったつ を紹介した一冊です。
だいせん しわ しもむら あきお 『大山史話』下村章雄 1966.07	092.23/S 4-5	だいせんじ えまき こう せいりつ おも ものがたり しょ 「大山寺絵巻」についての項で、その成立と主な物語の紹 うかい けいさい 介が掲載されています。
だいせんじ えんぎ ささき かずお へん いなば しょ 『大山寺縁起』佐々木一雄編 稲葉書 ぼう 房 1971.1	091.8/D1	だいせんじ えんぎ だいせんじ どうみよんいん どう だいせんじ えんぎ えまき 「大山寺縁起」(大山寺洞明院所蔵)、「大山寺縁起絵巻」 (東京国立博物館・東大史料編纂所等所蔵)を一冊に収録し たものです。文体はそのまま、読み下し文、現行文字で掲 ぶんたい よ くだ ぶん げん こう もじ けい 載されています。
だいせんじ えんぎ おおはらしゆんじ へん だいせんご どう 『大山寺縁起』大原俊二編 大山悟道 じやう 場 2016.9	Y185材	だいせんじ えんぎ の 巻き だいせんじ どうみよんいん しょう どう たいほん ほんこく 『大山寺縁起之巻』(大山寺洞明院所蔵)を底本に、翻刻し げんぶん ごじゆうごせつ わ げんたいご やく いったつ た原文を五十五節に分け、現代語訳した一冊です。
よどえ ちやうし よどえちやう 『淀江町誌』淀江町 1985		だいせんじ えんぎ よどえ どうじやう ぼめん 『大山寺縁起』において淀江が登場する場面をピックアッ けいさい プし掲載。

6. 大山の民話



タイトル	請求記号	本の紹介
『大山の民話』 立花書院 2001.4	Y38/Y9-3	「大山寺の僧兵たちが耳を傾けた昔話」という副題で、大山の古書を参考に作られた本です。江戸時代の小僧さんや修行僧たちに住職たちが話した大山寺の貴重な話が収められています。大山が関連する米子市が舞台の話も一部あります。
『大山をめぐる昔』 稲田和子 講談社 1977	093.8/16-2	「鳥取県大山麓の話」として、5人の女性から聞き取った昔話を文字におこした一冊です。
『大山の民話』 鳥取県 2007.3	Y388/タイ	鳥取県が発行した大山の民話小冊子です。「大山とナナカマドの木」「赤松の池の大蛇」「山くらべ」が掲載されています。
『ふるさとととりの民話』 鳥取県連合婦人会 2004.3	Y38/T30	「鳥取の伝説と昔遊び伝承事業」の一環として、鳥取県各地でお話を聞く会が開催され、そこで収録された民話をまとめた一冊です。大山地域は「大山の烏天狗」「大山と韓山の背くらべ」が収録されています。
『漫画大山の奇談』 立花書院 2012.9	Y388タイ	大山の民話8話を漫画で描いた一冊です。「大山の誕生」「金蓮上人」「地蔵坊と七釜」「智願坊と垂迹丸」「悪僧の大納言杉」「馬頭の岩屋の鬼女」「赤松池の悲話」「山椒魚の娘」が収録されています。
『からす天狗の恩がえし』 秦信夫 1996.3	Y38/H6	出雲の語り部、秦信夫氏著作の本です。出雲地方の民話が3話掲載されていますが、その中の「からす天狗の恩がえし」は、枕木山と大山の天狗の話です。
『大山みち～道標と石地蔵が語る大山信仰～』 淀江中央公民館歴史教室 1979.03	Y223/Y43	「大山と『から山』の山くらべ」「大山と鷲峰山との争い」「大山と那岐山との背くらべ」「大山と縄久利さん」「大山とチッゾさん」「大山と大倉山」を掲載。また、天狗など大山信仰にまつわる伝説も多数紹介されています。
『大山町誌』 大山町誌編さん委員会 大山町役場 1980.10	Y223/D4	「第六章 伝説・民話」に、大山にまつわる伝説と民話が網羅されています。

だいせん れきし だいせん けんきゅう
7. 大山の歴史・大山研究



タイトル	せいきゅうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
だいせんざつこう めまた よりすけ いなば しばう 『大山雑考』 沼田頼輔 稲葉書房 1961.11	092.23/N 1	めいじ ねん しょうやうしんほう かい けいさい めまた し 明治36年から松陽新報に61回にわたり掲載された沼田氏の だいせんじ ちょうさ きろく のち しもやま あきお し ほちゆう さつ 大山寺の調査記録を、後に下山章雄氏らが補注をつけ1冊 ほん ほんしょ れんさい どうじ だいせん し けんきゅう の本にまとめたのが本書です。連載当時から大山史研究の けつていばん 決定版とされてきました。大山寺の開基から明治までの大 いせん れきし かた 山の歴史が語られています。
だいせん まいにちしんぶんしゃ 『大山』 毎日新聞社 1958.6	092.23/M 2	まいにちしんぶん れんさい だいせん さつ 毎日新聞に連載された「大山」を1冊にしたものです。自 ん ぶんか かんこう 然、文化、観光についてそれぞれまとめられています。文 んか こうもく れきし まくあ ちゆうせい せいすい じんしゅう 化の項目では、「歴史の幕開け」「中世の盛衰」「民衆の うごき」をしもむら あきお し しつぷつ うごき」を下村章雄氏が執筆しています。ほか たなか しん じろう し のさか かんじ し しつぷつ 次郎氏、野坂寛治氏も執筆しています。
だいせん しわ しもむら あきお ほうき ぶんか けんきゅう 『大山史話』 下村章雄 伯耆文化研究 かい 会1966.1	092.23/S 4-5	だいせんざつこう ほちゆう しもむら あきお し か 『大山雑考』に補注をつけた下村章雄氏によって書かれた だいせん れきしよ だいせんざつこう 大山の歴史書です。『大山雑考』ではあまり語られなかつ ぶつどう びじゆつし だいせんじ えんぎ えまき ふ た仏像の美術史や、大山寺縁起絵巻についても触れられて いご ねん がつ ねん ぞうていばん かんこう います。以後、1966年7月、1969年に増訂版が刊行されて います。
だいせん みちしるべ いし じどう かた だいせん 『大山みち～道標と石地蔵が語る大山 しんこう よどえ ちゆうおえうみんかん れきし きょうしつ 信仰～』 淀江中央公民館歴史教室 1979.03	092.23/Y 4-3	はたなかひろし こうし よどえ ひら れきし きょうしつ けんきゅう 島中弘氏を講師にむかえ、淀江で開かれた歴史教室の研究 をまとめた一冊です。庶民の大山信仰について「大山み ち」からアプローチした研究書です。
とつとりけん れきし みち ちようさ ほうこくしよ だいいじゆつしゅう 『鳥取県歴史の道調査報告書第十集 だいせんみち とつとりけん きょういっくいんかい ぶんか か 大山道』 鳥取県教育委員会文化課 1991	Y290/ツ	だいせんしんこう みち きゆうばいち みち じゅうやう やくわり 大山信仰の道、牛馬市の道として、重要な役割をはたして だいせんみち けんきゅう さつ ぶんわ ぶんかざい きた大山道について研究された1冊です。民話や文化財、 れきし くにわ ぶ 歴史についても詳しく触れています。
だいせん しゅうへん 『大山とその周辺 とつとりけん しぜん れきし とつとりけん りつはくぶつ 鳥取県の自然と歴史3』 鳥取県立博物 かん 館1981.3	090.6/T 3	だいせん しんこう きんせい だいせん だいせん ぶんかざい けいさい 大山と信仰 近世の大山 大山の文化財について掲載され ています。
ほうき ぶんか だいいち ほうき ぶんか 『伯耆文化第一』 1988.10 伯耆文化 けんきゅうかい 研究会(110442639)	090.5/H1 -2	ほうき ぶんか けんきゅうかい だいせんとくしゅうこう だいせん しょくぶつたい 伯耆文化研究会の大山特集号です。「大山の植物帯につい いこま よしひろ し だいせん あきとり すぎたにまさのりし だいせんさんちゅう て」生駒義博氏、「大山の秋鳥」杉谷昌則氏、「大山産蝶 るい もくろく ほりい たびし しもやま げんごろう くらみつせいりく し 類目録」堀井度氏、「下山源五郎について」倉光清六氏、 だいせん しゅうきょう びじゆつ しもやま あきお し だいせんじりょう かん 「大山の宗教と美術」下山章雄氏、「大山寺領に関する一 こうさつ まつお ようきち し おおひらはら みよし たいぞう し だ 考察」松尾陽吉氏、「大平原の五か年」三好泰三氏、「大 いせん じんぶんふうけい いくた きよし だいせん ぶんけん ささき か 山をめぐる人文風景」生田清氏、「大山の文献」佐々木一 ずおし だいせん かん きこうぶん けいさい 雄氏、「大山に関する紀行文」を掲載。

<p>ほうき こく だいせん れきし どくほん 『伯耆国・大山歴史読本』 KADOKAWA 2018.01</p>	<p>Y223/ホウ</p>	<p>べっさつ れきし どくほん かんめ だいせんとうしゅう KADOKAWA別冊歴史読本シリーズ12巻目は、大山特集です。 しんわ ぞうざんかつどう れきし だいせん はばひろ もうら 神話、造山活動、歴史など、大山について幅広く網羅した いっさつ やすつな こうさつ けいさい 一冊です。安綱とたたらについての考察も掲載されていま す。</p>
<p>いの やまだいせん れきし しぜん す 『祈りの山大山 その歴史と自然』 杉 ぎもとよ み すみ ひろゆきちよ はつこう 本良巳・鷺見寛之著・発行 2012</p>	<p>Y290/スキ</p>	<p>だいせん しんわ しんこう れきし こうさつ わ じけいれつ 大山の神話・信仰・歴史の考察が、分かりやすく、時系列 きさい ぜんはん すぎもと し れきし こうさつ こうはん す に記載されています。前半は杉本氏の歴史考察、後半は鷺 み し だいせん しぜん しょうかい こうせい いっさつ 見氏による大山自然の紹介で構成された一冊です。</p>
<p>だいせんちようし だいせんちようし へん いんかい 『大山町誌』 大山町誌編さん委員会 だいせんちようやくば 大山町役場 1980.10</p>	<p>Y223/D4</p>	<p>だいせん れきし こだい きんたい こうつう せんそう さんぎよう かいはつ きよ 大山の歴史(古代～近代)・交通・戦争・産業・開発・教 ういく ぶんか じんじや じいん みんぞく もうら 育・文化・神社寺院・民俗などが網羅されています。</p>
<p>だいせんこんじゃくしゃしんしゅう たちばなしょいん 『大山今昔写真集』 立花書院 2008.06</p>	<p>Y740ス*</p>	<p>えど じだい げんだい しゃしん だいせん れきし しゃしんしゅう 江戸時代～現代までの写真でふりかえる大山の歴史写真集 かんまつ だいせん れきし ねんびよう だいせん かか ふか ひとびと です。巻末に大山の歴史年表と、大山に関わりの深い人々 しょうかい けいさい の紹介が掲載されています。</p>
<p>だいせんひやっか すぎもと よ み ちよ しん にほん かいしん 『大山百科』 杉本良巳著 新日本海新 ぶんしゃ 聞社 2018.03</p>	<p>Y223/スキ</p>	<p>だいせんかいざん ねん む すぎもとせんせい ねん ねん に 大山開山1300年に向け、杉本先生が2015年～2016年まで日 ほんかいしんぶん れんさい 本海新聞に連載されたものをまとめた一冊です。大山の歴 し ぶんか か 史、文化について書かれています。</p>

8. 大山の自然



タイトル	請求記号	本の紹介
<p>だいせん はな いた ひろしみ ちよ 『カラー大山の花たち』 伊田弘実著 よなごし かんこうきょうかい 米子市観光協会 1973</p>	<p>094.7/13 -2</p>	<p>しゅ だいせん はな おさ さつ 195種の大山の花たちを収めた1冊です。それぞれの花にち なんだ たんか けいさい なんだ短歌も掲載されています。巻末に索引あり。</p>
<p>だいせん やちよう かい 『大山の野鳥』 米子野鳥保護の会編 さんいん ほうそう 山陰放送 1976</p>	<p>Y488+カ</p>	<p>よなご やちよう かい いっさつ うつく とり しゃしん 米子野鳥の会がまとめた一冊です。美しい鳥の写真ととも とり しゅうせい とくちよう わ かいせつ に、鳥の習性や特徴が分かりやすく解説されています。</p>
<p>だいせん はな さんぼ ぞうほ かいてい 『大山・花の散歩 増補改訂』 1983.3 伊田弘実</p>	<p>094.7/13 -4</p>	<p>しゅ だいせん はな もうら いっさつ 612種の大山の花を網羅した一冊です。オールカラーで けいさい ちよしゃ いた し ほか ねん だいせん 掲載されています。著者の伊田氏は他にも1965年に「大山 はな ねん だいせん はな の花」、1973年に「カラー大山の花たち」を刊行。</p>

<p>『花ごよみ大山』小西毅他 朝日新聞 鳥取支局編 今井書店 1993.2</p>	<p>Y47/K3</p>	<p>朝日新聞鳥取支局が昭和60年(1985)から連載した「花ごよみ大山」のコラムを1冊にまとめたものです。巻末に掲載花名索引つき。平成10年(1998)に『花ごよみ大山Ⅱ』も刊行されました。</p>
<p>『大山の頂上保護活動10年のあゆみ』 大山の頂上を保護する会 1996</p>	<p>Y519/D1</p>	<p>昭和20年代～60年代の大山の山頂と、保護活動の写真相載されています。貴重な大山山頂の変化の写真相載。大山の自然環境について網羅された1冊です。</p>
<p>『大山の住人たち』森本満喜夫著 今井出版 2002.7</p>	<p>Y47/M1-2</p>	<p>読売新聞鳥取県版の長寿コラム「大山の住人たち」をまとめた1冊です。林、草原、岩場などの場所ごとに咲く植物を写真相ととも掲載。2005年には続刊となる『続大山の住人たち』も出版されました。</p>
<p>『新大山の蝶』松岡嘉之著・発行 2009.06</p>	<p>Y486マツ</p>	<p>大山で棲息が確認された121種を中心に、美しい写真相と共に蝶を紹介した1冊です。</p>
<p>『祈りの山大山 その歴史と自然』杉 本良巳・鷺見寛之著・発行 2012</p>	<p>Y290/スキ</p>	<p>鷺見寛幸氏が日本海新聞に掲載された、大山の自然についてのコラムがまとめてあります。大山の四季折々の自然が、写真相と共に紹介されています。</p>
<p>『続大山町誌』大山町誌編集委員会 大 山町2010.9</p>	<p>Y2239イ</p>	<p>第一章「地誌」3P-第三節「大山の気候」 第二章「生物」22P-第一節「動物」-第二節「植物」 -第三節「自然保護」</p>
<p>『国立公園大山 百科事典『大山物 語』』大山の美化を推進する会・大山 の頂上を保護する会/編・発行 2017</p>	<p>DVD-R</p>	<p>2016年に出版された国立公園指定80周年記念誌『国立公園大山』の増補版となる電子書籍です。大山の自然動植物、地形、気候などが詳しく記載されています。</p>

だいせん ぎゅうば いち
9. 大山牛馬市



タイトル	せいきゆうきごう 請求記号	ほん しょうかい 本の紹介
だいせんちょうし だいせんちょうし へん いいんかい 『大山町誌』 大山町誌編さん委員会 だいせんちょうやくば 大山町役場 1980.10	092.23/D 4	だいごへん いっしょうまつせつ ちくさん 第五編一章八節「畜産」704p だいせん ぎゅうばいち れきし する 大山の牛馬市について歴史が記されています。 また、第八編七章四節に「牛飼い歌」が紹介されていま
ばくろう ざ だいせんぎゅうばいち れきし かめお ぼちしゅう 『博労座大山牛馬市の歴史』 亀尾八洲 おす 雄 2007.9	Y640カ	だいせんぎゅうばいち れきし ばんしょ ばくろうやど だいせんまい みち うし 大山牛馬市の歴史から、番所、博労宿、大山参りの道、牛 お うた だいせん ぎゅうばいち さまざま かんてん いっさつ 追い唄など、牛馬市について様々な観点から書かれた一冊 です。
とっとりけん ちくさん へん だいせん ちくさん し だ 『鳥取県畜産発達史』 鳥取県農林部畜 産課 1964.3	096.4/T1 -2	とっとりけん ちくさん きょうしんかい かい きねん へん ちくさん し だ 鳥取県畜産共進会50回記念に編さんされた畜産史です。大 いせん ぎゅうばいち くにわ きさい か 山と牛馬市について(24p～)詳しく記載されています。巻 んまつ とっとりけん ちくさん へん だいせん ちくさん し ねんびよう 末に「鳥取県畜産発達史年表」あり。
ひの ぐん わぎゅうし ひの ぐん わぎゅう 『日野郡の和牛史』 「日野郡の和牛 史」編集委員会/編 ひの ちほう のうりん しんこう きょうぎかい はつこう 日野地方農林振興協議会発行 1990.3	Y64/H1	ほうきだいせん いち だいせんばくろう ざ ぎゅうばいち ぎゅう 「伯耆大山市(大山博労座の牛馬市) (170p～)として、牛 うば とりひき かちく しょう ふ 馬の取引や家畜商についても触れられています。
とっとりけん わぎゅうえんかく し ぜんこくのうぎよきょうどうくみ 『鳥取県和牛沿革史』 全国農業協同組 あいれんごうかい とっとりけん ほんぶ 合連合会鳥取県本部 2007.6	Y642ゼン	だいせんばくろう ざ 「大山博労座のにぎわい」(20p～)
だいせん そひまつ いししやう かつ だいせん 『大山みち～道標と石地蔵が語る大山 信仰～』 淀江中央公民館歴史教室 1070-02	Y223/Y4- 3	だいせん ぎゅうばいち むらた しゅういち 「Ⅶ 大山の牛馬市」村田秀一(183p～)
いの やまだいせん れきし しぜん す 『祈りの山大山 その歴史と自然』 杉 ぎもはし み すみ ひろゆきちよ はつこう 本良巳・鷺見寛幸著・発行 2012	Y290/スキ	ばくろう ざ ぎゅうばいち だいせんじ けいざい きよ 「博労座の牛馬市 大山寺の経済に寄与」(48p、49p)
こうふちょう し こうふちょう ちょうし へん いいんかい 『江府町史』 江府町町史編さん委員会 1975	092.26/K 1	だいせんもうで ぎゅうばいち けいざい (448p～) 大山話や牛馬市について掲載されています。